

# E G G P L A N T

エッグプラント  
Nファミリー  
ホームスクール通信  
2007.2.1  
No.31

## 納豆シヨック

テレビの一番組が大問題になりました。言わずと知れた「納豆ダイエット捏造」事件です。我が家では健康のために毎朝食べていたのに、急に手に入らなくなったので大困りでした。昔、石油シヨックのときに起こったトイレットペー

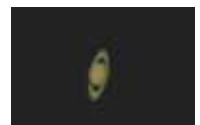
のほかに「情報機器を利用し、膨大な情報の中から必要な情報を抜き出し、活用する能力」という意味があります。テレビ・新聞・ラジオ・インターネットなど氾濫するメディアに翻弄されないようにメディア・リテラシーを高める必要があると叫ばれ、教育現場でも取り組みがなされています。なぜならメディアが流すものには、あまりにも偽りや不確かなものが多いからです。

「ダイエツト」というキーワードがあるからここまでヒットしたのでしょう。人間の願望がいかに凄まじいかも思い知らされました。そして、これが全くのデタラメだったのですからあきれ果てます。

クリスチャンは最も信頼できる情報は聖書の中にあると考えます。ところがこの情報は日本のメディアに取り上げられることはめつたにありません。判断・活用しようと思つても情報自体が少なく、取り上げられても「ダビンチ・コード」のように眉唾ものばかりで残念でなりません。いい加減な情報は、時が経てばふるわれていくものです。しかし、聖書は二千年間全く内容が変わっていません。時々突拍子もない聖書の解釈をして人々を惑わす者もいますが、これも時間と共にふるわれてきました。二千年前（もっと古い部分もあ

「読み書きの能力」という一般的な意味

聞いたことがありますか。リテラシーは



る)の本で、現代語に訳されて毎日のように読まれ、人間に愛・喜び・平安を与えている本が他にあるでしょうか。

納豆ダイエット程度の間違った情報ならともかく、人間の性質に関して間違つた情報をつかまされたら大変です。創造主はいるのか、死後の世界・死後のさばきはあるのか、天国・地獄のようなものはあるのか、など生き方を大きく左右する情報については慎重に判断・活用しなければなりません。くれぐれも最近流行の「スピリチュアルカウンセラー」なるものに惑わされせんように。あれはかなりひどい情報かつ、とても巧妙で見分けのつきにくいものですから… (K)



おじいちゃんたちとかるた

### 国立民族学博物館

H

我が家のお気に入りの博物館。それは「国立民族学博物館」です。何度行つたでしょうか。何度行つてもあきません。私たちが行つた一月八日は、無料観覧日でした。

私が博物館で一番気に入っているのは、ビデオテークといって世界の様々な生活・文化を紹介する映像展示です。新しく改装されていて、とても見ごちが良かったです。また、新しい映像もありました。ビデオテークの一覧表があり、地域ごとに分かれて書いてあります。そこに、ビデオの紹介を押すと、すぐに見ることが出来ます。何百種類もあるのでとても迷います。

私が気に入つたビデオが「ドイツのソーセージ作り」という番組で、豚を屠殺するところから、食べるところまでの全過程を見ることができました。豚の鼻とひづめ以外は全部、料理に使つていました。ハムやベーコンやソーセージを作り、家族七人の三ヶ月分の食料ができるそうです。ビデオテークはとても勉強になりました。一つのビデオテークは十五分前後の短い見やすい番組です。

まだ見ていない番組がいっぱいあるのでまた行って見たいです。



分光器作りに挑戦しました。完成した分光器でいろいろな光を見て、どんな虹(スペクトル)がでるのか試していました。中にはカーテンをみている人もいました。

公開型としては世界一の望遠鏡「なゆた」を使った観望会。雨の日には、普段には見ることのできないこの階の下の部分を見せてもらいました。



「こんなことしました！」 行事報告

一月

七日 日曜学校(昔遊び大会)

八日 国立民族学博物館

十二日 R七才誕生日

十五、十八日 りかキャンプ

二十日 英語落語会

(天満橋繁昌亭)

二十三日 J.Cチャーチホームスクール

二十七日 生涯学習講座「ニューイヤークンサート」

二十八日 実用英語技能検定三級試験(M)



今までで一番きれいだった星空

M

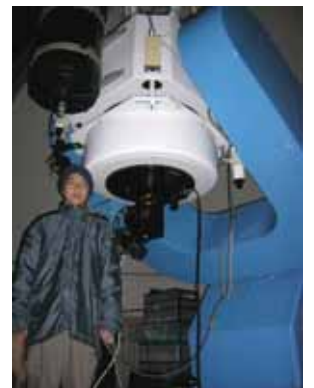
今年もりかキャンプに行ってきました。場所は日本最大の望遠鏡がある西はりま天文台公園。

僕は去年から妹たちといっしょに星の色について西はりま天文台の研究員さんに手伝ってもらいながら調べています。二月に開催されるジュニアセッションで今まで調べたことを発表しようと思っています。ですから今年のりかキャンプでは観測も兼ねて行きました。

りかキャンプといえは夜の観望会。残念ながら二日目の夜は雨でしたが、他の日にはいろいろな星を見ることができました。

夜の観望会が終わった後は、六〇センチ望遠鏡がある天文台南館に研究員さんといっしょに観測に行きました。今回は主に惑星などの星を三色に分けて観測しましたが、今回は一五〇色に観測しました。零時頃になると、曇り始めたので南館に休憩にいきました。一時頃になっても晴れないようなので片付けをしに戻ると、なんとさつきまで曇っていた空が晴れて星がのぞいていたのです。すぐに観測を再開して、一晩で大量のデータを得ることができました。このデータを元に、どんな結果がでるのか楽しみです。

今年のりかキャンプで僕が一番心に残ったのは、星空でした。僕たちが泊まりに行った時期はちょうど新月といって、月が見えなくなるので暗くなり、どこを見回しても星ばかりの、今までで一番きれいな星空でした。これらの星ひとつひとつの違いや美しさを見るたびに、神様の素晴らしさを思いました。



観測で使用した望遠鏡。顔の近くにある黒い物体が色を150色に分ける分光器です。

読書コーナー

いちばんつれいよくりもの

マックス・ルケード著

木ぼりの小人パンチネロのいちばんの楽しみ「つくり主の日」が今年もやってくる。自分たちをつくらせてくれた、彫刻家のエリをお祝いするために、小人たちはじゅんぴにきてこまい。「だれにも負けない最高の贈り物をあげたい。」みんな、競い合うように贈り物を考えた。

大好きなエリをよるこぼせるために何かすごいことをしなくては、あせるパンチネロには、「そばにいてくれるだけでいいんだよ」というエリの言葉は耳に入らなかつた。いよいよ「つくり主の日」、エリがいちばんよろこんだ贈り物とは？

この本はRのお気に入りの本です。ぜひ読んでください。

編集後記

今月から五月まで、我が家の誕生日ラッシュです。子どもたちは誕生日のプレゼントと夕食のメニューを考えています。考えが次々に変わるのが愉快です。